

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和6年度】

(評価日令和7年6月9日)

1 施設の概要

施設名	岩手県営スキージャンプ場		
所在地	八幡平市矢神 8－1		
電話・FAX	0195-74-2111・0195-74-2101（八幡平市市民部文化スポーツ課）		
HP・電子メール	http://www.city.hachimantai.lg.jp		
設置根拠	スキージャンプ場条例		
設置目的	（設置：昭和 60 年 12 月） 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため		
施設概要	○敷地面積 10,299.94 m ² ○ジャンプ台		
	ジャンプ台区分	ミディアムヒル	スモールヒル
	縦断／助走路部	61m	35m
	踏切台高	1.5m	0.63m
	ランディング部	80m	46.7m
	アウトラン部	65m	60m
	K点までの距離（HS）	50m（HS：56m）	25m（HS：27m）
	助走路滑走面	スライディングレール（セラミックタイル）	
	ランディング部	ポリエチレン人工芝（ソウメン）	
	アウトラン部	ポリエチレン人工芝（ブラシ状マット）	
	照明設備	一式	
	散水設備	一式	
	風向風速計	2 基	
	ネットフェンス	207m	
	施設所管課	○その他 倉庫：49.68 m ² （延べ 99.36 m ² ）	
岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 （電話 019-629-6797、メールアドレス AK0003@pref.iwate.jp ）			

2 指定管理者

指定管理者名	八幡平市
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
連絡先	八幡平市役所本庁舎 市民部文化スポーツ課スポーツ推進係 0195-74-2111 (内線1147)

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	施設の使用許可事務及び利用方法指導 施設の維持管理		
職員配置、管理体制	5名(常勤換算 名) (R6年4月1日現在)	【組織図】 八幡平市(文化スポーツ課) スポーツ推進係4名	
	(内訳) 正職員 5名 非常勤職員 1名		
利用料金	区 分	個人の場合	貸切使用の場合
	児童及び生徒	1人1日までごとに 830円	1時間までごとに 1,680円
	学生及び一般	1人1日までごとに 1,330円	1時間までごとに 2,660円

開館時間	開館：午前8時30分～21時00分 受付：午前8時30分～17時15分	休館日	12月29日から翌年1月3日
------	--	-----	----------------

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間 平 均	指定管理期間						備考
		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	期間平均	
第1四半期	83	128	122				125	
第2四半期	348	374	244				309	
第3四半期	42	69	11				40	
第4四半期	0	0	0				0	
年間計（実績）	472	571	377				474	
年間計（計画）		500	540				520	

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		前期間 平 均	指定管理期間						備考
			5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	期間平均	
収 入	利用料金収入	90	116	58				87	
	県委託料	2,970	3,529	3,686				3,608	
	小計	3,060	3,645	3,744				3,695	
支 出	人件費	792	895	756				826	
	賃金	0	0	0				0	
	需用費	1,381	1,418	1,784				1,601	
	役務費	52	54	52				53	
	その他（委託料）	1,008	1,209	1,408				1,309	
	小計	3,233	3,576	4,000				3,788	
収支差額		△173	69	△256				△94	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	・使用報告書に意見・要望の記載欄を設けている。 ・アンケートボックスを設置している。	実施 主体	八幡平市（指定管理者）
------	---	----------	-------------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 0 件、要望 0 件		
主な苦情、要望等		対応状況	
その他利用者からの積極的な評価等 特になし。			

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	設置目的を効率的かつ効果的に達成する。	県内選手の強化及び利用者増加に向け、土日を問わず開場した。また、県外利用希望者へも使用許可をした。	A
施設の利用状況	競技団体と会議を持ち、年間使用計画を策定し、利用促進を図る。	主な使用者である県スキー連盟から利用日時を確認し対応した。複数の団体が利用できるように調整した。 また、県外利用者への施設利用についても柔軟に対応した。	B
施設の維持管理状況	定期的な巡回を行い、予防保全の徹底を図る。	週1回の施設巡回、施設の修繕と施設内外の除草作業を行い、維持管理を行った。	A
記録等の整理・保管	管理に係る各種帳票書類を適正に整理・保管する。	施設使用許可書兼報告書を月別に管理・集計した。	B
自主事業、提案内容の実施状況	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づき事業を実施する。	ジャンプ選手の競技力向上・競技者増加を目的に、第37回田山ジュニアサマージャンプ大会を8月4日に開催した。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点：管理運営業務を適切かつ円滑に実施していると認められる。 また、関係団体と連携し、利用促進に努めた。 ・改善を要する点：特になし。			B

(2) 運営体制等

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員を適正に配置する。	当課職員全員で情報共有して対応した。	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の対応を適切に行う。	苦情、要望はなかった。	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練を行う。	現場での災害時・緊急時の対応方法及び連絡体制を職員で確認した。	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づき、近隣住民や関係機関との協力連携に努め、良好な関係を維持する。	緊密な連絡調整を図った。 協議事項が生じた場合は随時対応した。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点：適切な施設の管理が行われた。 ・改善を要する点：特になし。			B

(3) サービスの質

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
利用者アンケート等	競技関係者からアンケート・聞き取り調査を行い、利用者ニーズを把握し、業務運営に反映する。	アンケートボックスを設け、随時ニーズの把握に努めたが、アンケートの提出はなかった。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点：特になし。 ・改善を要する点：特になし。			B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する収支実績が適正である。	施設修繕に対応するため、支出が上回った。	B
（施設所管課評価） ・成果のあった点：特になし。 ・改善を要する点：特になし。			B

※（注１）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」
指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注２）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
 B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
 C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
 D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取り組み、積極的に取り組んだ事項
- 定期的な巡回・点検を行い、施設の適正な維持管理に努めた。 - 施設の衛生面を考慮し、場内・周辺の刈払いと除草剤散布を実施した。 - 県外利用者への施設利用についても柔軟に対応した。
② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項
- 貯水タンクからの給水のため、水源地の給水口の清掃を定期的実施しているが、もっと効率的な管理方法を検討したい。 - 夏期は水源地の水量減少により、散水が困難になることがある。 - 例年、雪解け時にランディングマットの剥離、破損がある。 - 毎年雪解け時に給水装置が破損し、修繕を実施しているが根本的な改善になっていない。
③ 県に対する要望、意見等
- ミディアムヒルランディング部の転倒防護マットの設置 - ミディアムヒルランディング脇の人工芝の更新 - アウトラン部分の人工芝の更新 - ランディングマットを着脱できるよう構造の変更又は更新

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について
管理運営業務を適切かつ円滑に実施していると認められる。 関係スポーツ団体と連携し、適正かつ効率的な運営を行っている。
② 県の対応状況について（自己評価）
指定管理者と連携しながら管理運営に関する問題解決に努めた。
③ 次期指定管理者選定時における検討課題等
施設設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化を図るよう計画的に維持修繕に取り組む必要がある。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
なし
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）